

ふぁみいゆだより

第25号

社会福祉法人瑞穂会
ふぁみいゆ行田
行田市大字下須戸75番地
TEL 048-559-4165
ふぁみいゆ東館
行田市大字下須戸65番1号
TEL 048-559-5561
平成30年4月発行
発行責任者 藤井尚子
<http://famille-gyoda.com/>

2018年度スタートにあたり



施設長 藤井尚子



少々早い桜の開花を迎え今年も春は訪れました。一方で介護業界は超人材難であり、依然として真冬の時代が続いています。養成校も定員割れという状況で、先行きも不安です。そのような背景ではありますが、今年度、ふぁみいゆ行田に新卒の方が3名入職されました。

小此木さんと松本さんは誠和福祉高校で福祉を勉強し、3月に介護福祉士国家資格試験に無事合格されました。二人とも高校生の時からふぁみいゆ行田に実習生としてご縁があり、勉強熱心な生徒さんでした。ニコニコと可愛らしい笑顔は利用者様

の心に小春日和のような癒しをもたらすことでしょう。

林さんは料理が好きで、埼玉県調理師専門学校で調理師資格を取得され、栄養課の配属となりました。中学校の職場体験の時にふぁみいゆ行田の利用者様が美味しそうに食事を召し上がるのを見て、自分も美味しい料理を作って食べていただきたいと調理の仕事に就くことを決めたとのことです。心優しい林さんの料理を召し上がり、利用者様はきっと健やかに幸せになることでしょう。林さんは、なんと太田保育園出身でもあります。

希望にあふれ、社会人としての一步を踏み出したばかりの新人さん達が、高齢者福祉の仕事を選んで良かった、ふぁみいゆで働いて本当に良かったと言っているように、スタッフ一同明るい職場環境作りに懸命に励みたいと思います。と同時に、当施設の理念である「利用者様に生きていて本当によかったと言っているだけ暮らしの追求」を通して介護サービスの高質化を図ってまいります。地域の皆様には引き続き温かいご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願いいたします。



小此木 美嬉さん
こぶしユニット



松本 星奈さん
ゆりユニット



林 優季菜さん
栄養課

ふぁみいゆの暮らしから

新年会 今年は、下須戸獅子舞保存会の皆さまのご協力をいただき、八坂神社に数百年前から奉納されているという貴重な木彫りの獅子頭をお持ちいただき、新年会を催しました。

獅子頭に咬んでもらうと無病息災、悪い所が治癒するという霊験あらたかなご利益を信じている利用者様が多くおられます。獅子頭がそっと頭や手を咬むと獅子頭に手を合わせる利用者様の姿も見られ、大変喜ばれました。この獅子頭は通常は開放しておらず、施設長と東館館長がお願いにあがり、「お年寄りに喜んでいただけるのであれば」と快諾して下さり実現したものでした。獅子頭の他に、悪を切るという意味の刀と、悪い所を治す鏡と短刀も合わせお持ちいただきました。ありがとうございました。生活相談室 大熊裕子





ふぁみいゆ行田から北側を臨む
遠方に刈り残った穂先のみが黄色く見える

水害に備えて

平成 30 年 3 月、ふぁみいゆ行田・ふぁみいゆ東館で初めての合同水害訓練を実施しました。

昨年 10 月、関東地方を大型の台風 21 号が通過した翌朝、施設北側の道路は冠水し、湖のような光景が広がっていました。利根川流水域と荒川流水域に挟まれるここ行田市は、特に水害による被害を受けやすい環境にあることをまざまざと思い知らされた出来事でした。このことに危機感を感じ、昨年オープンしたふぁみいゆ東館は平屋建ての為、ふぁみいゆ行田本館の 2 階への避難計画を立て、実施することにしました。

近隣の方にご迷惑にならないよう事前に訓練の内容をお知らせしました。東館の利用者様を少しでも

地盤の高い南側の通路から本館 2 階へ誘導しました。全員の移動が終わるまで繰り返し、誘導を終えた時には約 1 時間経過していました。本館 1 階の利者様は 1 階のユニットから 2 階のユニットへ移動し、20 分程度で終わりました。

避難後もユニットの空間に十分なゆとりがあったため、利用者様は普段と変わらないようすで、落ち着いて過ごすことが出来ました。今後はより早く安全に誘導できるよう、対応策を考えていきたいと思ひます。



本館内を移動する様子

防犯研修

～利用者様と働く職員の安全のために～

2 月 22、26、27 日の 3 日間で、行田警察署、行田市役所の防犯安全課の方に防犯研修を指導していただきました。

- 不審者なんて来ないだろう・・・ではなく、いつ来てもおかしくない、といった日ごろからの心構えが大切であること。
- 職員側から挨拶をすることで、不審者が見られているという意識になり、犯罪を心理的に抑止できる効果があること。



と教えていただき、受付にいる総務課がしっかり挨拶と声かけをし、不審者が侵入することが無いように心がけたいと思ひます。また刺股(さすまた)やたてを使っての実践方法も教えていただきました。使う日が来ない事を願うばかりです。

まんさくユニット 古代蓮公園へ外出

平成 30 年春、お天気の良い日が続きました。そこでショートステイでは、季節を感じて頂きたく、古代蓮の里公園へ出かけました。



公園内を散歩、ふぁみいゆ厨房手作りのお弁当を召し上がり、楽しく過ごして参りました。

今後も、皆様に楽しく喜んで頂けるよう外出やイベント行事を計画しております。また、季節柄ますます暖かい陽気になると思ひますが、体調を崩されませんようお身体には十分お気をつけ下さい。



さざんか・こぶし合同クリスマス会



クリスマスケーキを召し上がったたり、プレゼントをいただき利用者様は嬉しそうでした。忘年会では皆様リクエストのお寿司とフライドチキンを美味しくいただきました。



ゆり・りんどう合同クリスマス会



昼食は利用者様からのリクエストで、ちらし寿司と豚汁、ポテトサラダをユニットで調理をし、定番のフライドチキンを加えて、みな様大満足です。

その後、利用者様も職員も一緒に仮装パーティ!

カラオケで盛り上がり、職員の漫才で大笑い、クリスマスプレゼントで喜んでいただきました。



新年コンサート

ピアノとドラムの女性・男性の二人組ユニット「詩月（しづき）」様による、ジャズやボサノバコンサートを開催いたしました。ドラム演奏をお迎えしたのは初めての試みで、利用者様に受入れて頂けるか、少し不安がりましたが、始まると皆様から手拍子が出て、だんだんリズムに乗って自然と手や足など体が動く姿が見られました。特に男性利用者様には好評で「たまにはいいね、楽しかった」「若いころを思い出したよ」との声が聞かれました。皆で一緒に歌える歌もご用意くださり、いつもは途中で席を立たれる方にも最後まで楽しんでいただきました。



デイサービスの生活



機能訓練指導員 秋間翔太



この度デイサービスに配属になりました機能訓練指導員の秋間（理学療法士）です。以前は病院でのリハビリを行っていました。退院されたらそれで終了となる短期でのかわりが主でしたが、デイサービスの利用者様とは、継続的に関わっていけるのでやりがいを感じています。コミュニケーションをはかり会話を楽しみながら、「リハビリは辛いからいやだと」と言われぬよう、楽しく行えるリハビリを進めていきたいと思っています。

リハビリを続けることによって、日常生活がスムーズになりますよう頑張りたいと思います。



ひな祭り

3月3日の桃の節句を前に、ふぁみいゆ玄関ホールに雛人形が飾られました。利用者様も、デイサービスからお散歩がてら見に行かれます。「昔飾ったわ」「きれいね」「なつかしいわ」とお話しもはさみます。何となくウキウキしたところで、お内裏様とお雛様の前で記念写真、「スマイル！」



いざ！勝負！

将棋盤の前で頭をフル回転しながら二人とも真剣勝負です。勝利の女神はどちらに微笑むのか！？勝っても、負けてもニコニコと将棋を楽しんでいらっやいました。

ふぁみいゆ畑

～プロの仕事、野菜作りの天才！～

寒い冬が終わり、春到来です。さっそく今年は、にんじんとカブを植えました。皆様慣れた手つきで次々と種がまかれていきます。「芽が出て、大きくなって、6月には収穫ね！」と笑顔いっぱいの日でした。



春先取り

暖かくなり花が一斉に咲き始め、散歩の季節がやってきました。ふぁみいゆ行田の庭にも、何種類かの桜の樹があります。『天地に恵みを与える日の光』という意味で名前がついた陽光桜の前で写真を撮りました。美しい桜を観ながらのお散歩は足取りも軽快です。

桜のお花見・昼食会



古代蓮の里に栄養課が作ってくれたお弁当を持って、お花見に行きました。

春風に吹かれ散歩を満喫された後はお楽しみのお弁当です。天ぷらやふき、竹の子、煮豆など盛りだくさんです。少し飲み込みが難しい利用者様にもちゃんと工夫されています。元気よくノンアルコールで「乾杯！」と皆様ニコニコ笑顔満点でした。



ふぁみいゆ東館一周年を迎えて

ふぁみいゆ東館館長 野口清美



地域密着型複合施設東館は平成 29 年 5 月オープンし、今年開館 1 年を迎えます。開設当初、新規事業と言う事もあり運営面の在り方に試行錯誤もありましたが、行政、病院、サービス事業所、自治会、民生委員等の地域の方々のお力と、利用者様、ご家族様の協力を得て秋には定員いっぱいとなりました。

今年度も「利用者様中心」を念頭に置き、個々の利用者様が望む暮らしの実現に向け、また、地域密着型として地域に根付き開かれた施設を目指し日々努力していきたいと思いますので、今後とも宜しくお願い致します。

ふぁみいゆ東館 小東風の暮らし

ふぁみいゆ小東風（ここち）では、日頃ご家庭で行っている日常生活の動作をいつまでも継続できる様に活動に取り入れています。

野菜作り失敗！

11月1日、東館利用者様と一緒に苺の苗を8株植えました。大きな粒になるように室内で大切に育て、花が咲き、実が付きましたが、苺の表面にカビが生えてしまい、鑑賞だけで食べる事が出来ませんでした。来年もう一度チャレンジします。



収穫・調理

9月7日に肥料袋に植えた大根ですが、今年1月29日に3本収穫しました。収穫した大根を利用者様が食べやすくカットし、浅漬けの素に浸け、翌日通いの仲間達と美味しく頂きました。



次回は大根の煮物にチャレンジ！



掃除

通いのお仲間が帰った後、職員と共にお部屋を掃除したりシーツを交換したり、明日来られるお仲間を迎える準備をしてお待ちしております。



買い物

普段はご家族が購入されている新聞をコンビニへ買いに出かけました。ご自分で新聞を選び、支払いも一人で行いました。コンビニの店員さんには、ご本人のゆっくりしたペースに合わせて親切に対応していただけました。



年賀状作り



毎日飲んでいる牛乳パックを再利用。細かく手でちぎり、時間をかけてハガキを作りました。

毎日お世話になっているご家族へ、普段言葉で伝える事が出来ない感謝の

気持ちを年賀状に書きとめ送りました。

字を書く機会が減り、ペン先が震えましたが、気持ちが伝わったことでしょうか。出来上がった年賀状を拝見させて頂きました。感激し感無量となり、涙がこぼれました。

～ありがとう～



古代蓮の里イルミネーション

(東館・小東風合同)



昨年12月、事務職員の応援を得て、利用者様19名、職員16名、総勢35名で古代蓮の里イルミネーションを見にいきました。展望台に上がると、感動的な夕焼けに染まった富士山を見ることができました！ネオンを頼りに自宅の場所を探したり、若い頃出かけた思い出話をしながら目に涙を溜めたり、人それぞれの思い出に浸りました。

ポップサーカス (東館・小東風合同)



今年1月中旬～2月中旬、総務課や介護サポーターの協力のもと、利用者様34名、職員27名、総勢61名が6日間に分かれて、読売新聞社主催のポップサーカスをモラージュ菖蒲まで見に行ってきました。

壮大なエンターテインメントに刺激を受け、「感動！感激！」自ら声を出し、集中して1時間半を楽しむ事ができ、良い思い出となりました。

また、インフルエンザが猛威を振るった時期でしたが、誰一人感染することなく過ごせました。



健康講座 (東館・小東風合同)

平成29年12月1日、行田法人会主催の健康講座に利用者様11名、職員4名、総勢15名で参加しました。法人会の計らいで一番前の席をご用意して頂き、林家木久蔵師匠のお話で「笑い・幸せ・健康」を頂きました。



節分 (東館・小東風合同)

平成30年2月3日、赤鬼、青鬼が東館にやってきました。

鬼にビックリして声を出したり、小包装された豆をつかみ「鬼は外」と思いっきり鬼に投げつけたり、「誰が鬼やってんの？」と冷静に判断されたり、東館のあちらこちらで色々な声が飛び交いました。



ビックリひな祭り (東館・小東風合同)



平成30年2月27・28日の2日間、利用者様15名、職員7名の計22名でビックリひな祭りを見に花久の里(鴻巣市)へ出かけました。雛人形の数にビックリし、腰が延びる程身体を後ろへ反らし、天井

に近いお雛様を見上げました。

花久の里の園庭でお茶とお菓子を頂き、春が待ち遠しい気持ちになりました。



昼食バイキング (東館・小東風合同)

平成30年3月9日、栄養課の協力を得て昼食バイキングを開催しました。

レストラン風にメニューボードを設置し、バイキング形式で食べたい料理を選び、職員へ伝えたり、自分で取ったりして食欲が増進したようです。極刻みの利用者様も選択出来るよう工夫されたメニューで、満面の笑みで利用者様同士、職員との会話も自然に弾みました。



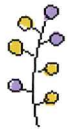
防災訓練 (東館・小東風合同)

平成30年2月15日、東館初めての防災訓練を実施しました。消防本部予防課職員、足立防災、サロン協力者のお力を借り、また、当日サロン柿の木で開催していた「はあとカフェ」の参加者や包括職員のご協力を得て、利用者様全員を避難誘導することができました。今後は夜間想定訓練も予定し利用者様が安心して暮らせる環境にしていきます。



ふあみいゆ文芸

俳句



節分や幸せよ来い豆をまく

鈴木嘉代子

若しみを越えて九十六度の春迎ふ

金久保ふく

春風に一步早いぞ四月かな

清水文夫

満開の桜みんなで見よう

諸貫ウメ

ふあみいゆと卒業して春から東館

藤間たい子

ふあみいゆの窓に桜の散りゆけり

寺内トヨ子

ふあみいゆの利用者増えつつ桜散る

和賀澄子

ふあみいゆのやかた彩る桜草

松本二十子

老いの身の待つは穏やかな日和のみ

平塚シゲ子

日暮れまで畑で働くお母さん

小河原さき

過ぎ去りし思いを揺らすさくら風

齋藤美智子

送迎車富士山見えぬ春がすみ

梅沢さく

春の星桜とともに光りけり

小此木美嬉

満開の桜ヒラヒラ舞い落ちる

秋葉マサ子

生け花の花見て思う春が来た

稲村晃子

春四月空高くとどひばりかな

藤間豊美

我家の畑に菜の花咲いた

田中栄七

年をとりふあみいゆさんにやすらかに

漆原よね子

くもる窓外の寒さを伝えている

増田光

早春や芽吹く草木の勇ましき

鈴木孝光

桜咲く今日のこのごろ子と思う

岡田睦美

四月はね心改めて六年生

久保田啓司

花見酒ほろよい気分気持ち良い

金井陽平

長き夜の香りうきたつ冬至の湯

福岡和光

年齢忘れ桜に誘われ山登る

佐藤京美

うぐいすの初鳴きを聴く昼下がり

松井隆

山鳩のよぎる羽音や朝桜

柴崎泰治

園児等の揃くみどりまだらなよもぎ餅

小嶋悦雄

穏やかな光つまれ初日の出

平社伊津代

短歌



ふあみいゆに

過ごした四年の日々ありて

我いやされて友と過こしぬ

佐川八重美

ありがとう

シワ多き手に抱かれる

春のような暖かな日々

長谷川仁美

テレビ見て

新聞パソコンゲームと昼寝

リハビリ散歩爺元気なり

杉山嘉子

七十路の

わが語り待つ園児あり

ときめき向ふ今日新年度

杉田すみ

連れ添いて

半世紀超ゆ長きとも

またたく間とも初日おろがむ

小嶋敏子



地域包括支援センター

🍊 オレンジカフェ「はあとカフェ」を始めて

管理者 石川千代美



「笑いヨガ」では大いに笑いました

包括支援センターでは、認知症の方やそのご家族のご負担を少しでも軽減するために、「はあとカフェ」を平成27年9月から開催しております。今年の4月で2年半になりますが、民生委員さんやその他多くのボランティアさんのご協力により、今まで続けていくことができました。平成29年6月に東館へ移転し、現在は地域交流館「サロン柿の木」に於いて実施しています。「いい雰囲気、喫茶店のよう。コーヒーもおいしい。」というお言葉が多く聞かれます。



「ながちか体操」でリフレッシュ

平成27年に始めた頃は、ほとんどご利用になる方もいませんでしたが、今は多くの方にご利用いただいています。29年度は延べ80名を超す方にご参加をいただきました。平成29年6月から、行田市からの委託を受けております。今後も認知症の方や介護をされるご家族が、安心して住みなれた地域で、生活できるよう支援することと共に「自分たちにも、できることがある。」という役割を持っていただくことへの支援もできたらと思っています。

今後は、認知症の方を介護されているご家族様で、「家族会」の立ち上げができればと考えてお



「作る楽しみ」いろいろな作品が生まれました



♥♥♥ はあとカフェ開催日の変更 ♥♥♥

毎月最終木曜日 午後1時30分～3時
変更前は月2回でしたが5月から月1回の開催となります。よろしくお願ひいたします。

ふぁみいゆ訪問介護

🍊 ご自宅で暮らす！

ふぁみいゆ訪問介護 サービス提供責任者 大塚しのぶ



「住み慣れたご自宅でいつまでも暮らしましょう」この言葉をモットーに、皆様の暮らしを支える訪問介護の仕事に誇りを持って訪問しています。

訪問介護で大切なことは「常に利用者様の立場に立ってサービスに当たる」ことだと思います。限られた時間の中で、利用者様やご家族の笑顔を引き出し、在宅生活を快適なものにするためのお手伝いをこれからもさせていただきたいと考えています。

🍊 利用者K様を息子様と二人三脚でお支えして

介護職員 小白美津子



K様宅に訪問介護に何うようになり、5年目を迎えます。K様は要介護4、会社員の息子様と2人暮らしです。デイサービスと訪問介護を組み合わせながら、在宅生活をおくられています。ご自宅ではほとんどベットに横たわっておられますが、幸せそうです。お身体が不自由なのにK様の心が穏やかに保たれているのはどうしてかしら？と思います。その源をたどってみると、仕事の合い間に献身的にお世話をされている息子様にたどり着きます。息子様に見守られている安心感から、K様の幸せそうな表情は生れるのだと気付きました。「ご自宅での生活を続ける」そのお手伝いができることは訪問職員としての喜びです。

🍊 もっと楽しく暮らしませんか？ もちろん車いすOKです！

訪問介護では介護保険で賄いきれないご要望を自費サービスで承っています。「お花見に行きたい！」「買い物に行きたい」「お友達に会いに行きたい」そんな願いを叶えます。資格を持った職員が付き添って、1時間2000円です。格安な移送サービスを組み合わせ、老後の生活を楽しく暮らしましょう！



▶▶▶ お問い合わせ・お申し込みはこちらまで 訪問介護専用 048-559-4160 ◀◀◀

地域交流館 サロン柿の木



健康塾 レッドコード



脳トレ折り紙



安来節・ドジョウすくい



会話も弾むランチ会



プロの指導で小座布団作り



スマホ教室



地域に開かれたサロン

運営委員長 杉田すみ



平成 29 年 6 月にオープンしたサロンは 11 カ月目を迎えました。公的な運営費補助のないサロンが、果たして運営出来るのか心配でしたが心配は危惧に終わりました。ボランティア精神豊かな方が、講師や当番を申し出てくださり、月を追うごとに内容が充実してきました。「気軽に集まって、歌ったり、おしゃべりできる娯楽の場・学びの場・健康作りの場」
「地域の力で、地域の方を支える場所」として定着してきております。

「どうやって補助金なしで活発に活動できるの？」と不思議らしく、他地区の方々が見学にこられます。基本的な運営費（電気代や飲み物代等）は、理事長のご理解で賄われていますが、種明かしはボランティアさんの協力の賜物なのです。

明るく快く積極的にご協力くださるボランティアさんに感謝の他ありません。今後、地域の人たちの結びつきは次第に希薄になって来ることでしょうか。地域交流館的当サロンのような場所が各地域に必要なようになってくるのではないのでしょうか。その先駆けを務める「サロン柿の木」の運営委員長として責任を感じます。

サロンの予定表は、ふあみいゆ行田ホームページに掲載しております。また、太田・埼玉地域では自治会様のご協力をいただいで、回覧をお願いしております。行田市だけでなく加須市の皆さまにもご協力頂いております。ご予約の合う日にぜひ、ご来館ください。



お抹茶で新年の集い



親子でクリスマス飾り作り



杉田明美様オペラコンサート

視野が広がったサロン当番

運営委員 松井美枝子



私は、サロン柿の木で主に毎週火曜日に当番をしております。東館の利用者様や地域の方々に気軽に参加して頂き、エレクトーンに併せて懐かしい歌を歌ったり、手遊びをしたりして楽しんでおります。サロンでは、香り豊かなコーヒーや思わずお代わりしたくなるような緑茶を飲んでいただきながら、おしゃべり出来る処です。

毎月「活動計画」を立てて実施していますので、楽しい学びの場所でもあります。主な内容としては、いろいろな材料使ったの制作、ランチ会、元気健康塾、将棋と囲碁、ゆったりデー等々です。

私の何よりの喜びは、サロンにお出でになった方々といろいろなおしゃべり（家庭料理のレシピ、園芸、健康他）ができることです。お陰さまで視野も広がり元気をいただいたような気がします。これからも地域の交流の場としてどなたでも気軽に集える場所でありませう、微力ではありますがお手伝いできればと思っております。そして生涯が心豊かでありたいと願っております。

